

医療現場を離れている「潜在看護師」に向けて

専門講座「新型コロナワクチン接種の知識と技術」を開催

本日、杉並区役所分庁舎で潜在看護師を対象とした、新型コロナワクチン接種に必要な知識・技能を習得するための講座を行いました。今後進められるワクチン接種において必要とされる看護師資格を持つ人材の掘り起こしを目的とした講座です。明日 26 日 14 時から同講座を開催する予定です。

新型コロナワクチン接種について、区においても準備を進めているところですが、実際に接種業務を担う看護師資格を持つ人材の確保が重要かつ喫緊の課題となっています。

現在、人材派遣会社などを通して有資格者の確保を図っていますが、全国的に不足している状態であり、看護師資格を有しながらも医療現場を離れている、いわゆる「潜在看護師」に向けて接種業務への協力を呼びかけているところです。

潜在看護師の多くは臨床経験がないまたは長期間にわたって現場を離れている場合が多いことから、接種に必要な知識・技能等を習得するとともに、不安感を払しょくする意味からも、この度、事前講座を実施することとしました。

本日 10 時から杉並区役所分庁舎で開催した、専門講座「新型コロナワクチン接種の知識と技術」には 14 人が参加し、ワクチンの特長や取扱に関する講義や、薬液充填や筋肉内注射の実技訓練を行いました。実技訓練では、実際の注射器で訓練ができるシミュレーターを用い、受講者同士で腕を貸し合いながら実技を行いました。講座後には、接種への協力の可否や協力できる頻度などに関するアンケートを実施し、病院等での従事が可能な人数を把握していく予定です。



参加者の一人は「看護師資格を持つ者として、どんなことでもいいから貢献したいと考えていたところ、広報で講座を見かけて参加しました。報道以外に知識を得る手段がなかったのが、細かいところまで知ることができてよかった。知り合いの看護師にも情報を共有して、みんなで貢献していきたい。」と話していました。



明日 26 日 14 時から同講座が行われるほか、3 月初旬には看護師資格をもつ区職員に加えて、乳幼児健診などで一時的に雇用している有資格者に対しても同様の講座を行ってきました。引き続きワクチン接種に必要な人材の確保に向けて、呼びかけ等を行っていきます。

【問い合わせ先】

総務部広報課：03-3312-2111（代表）

杉並保健所健康推進課：03-3391-1355